



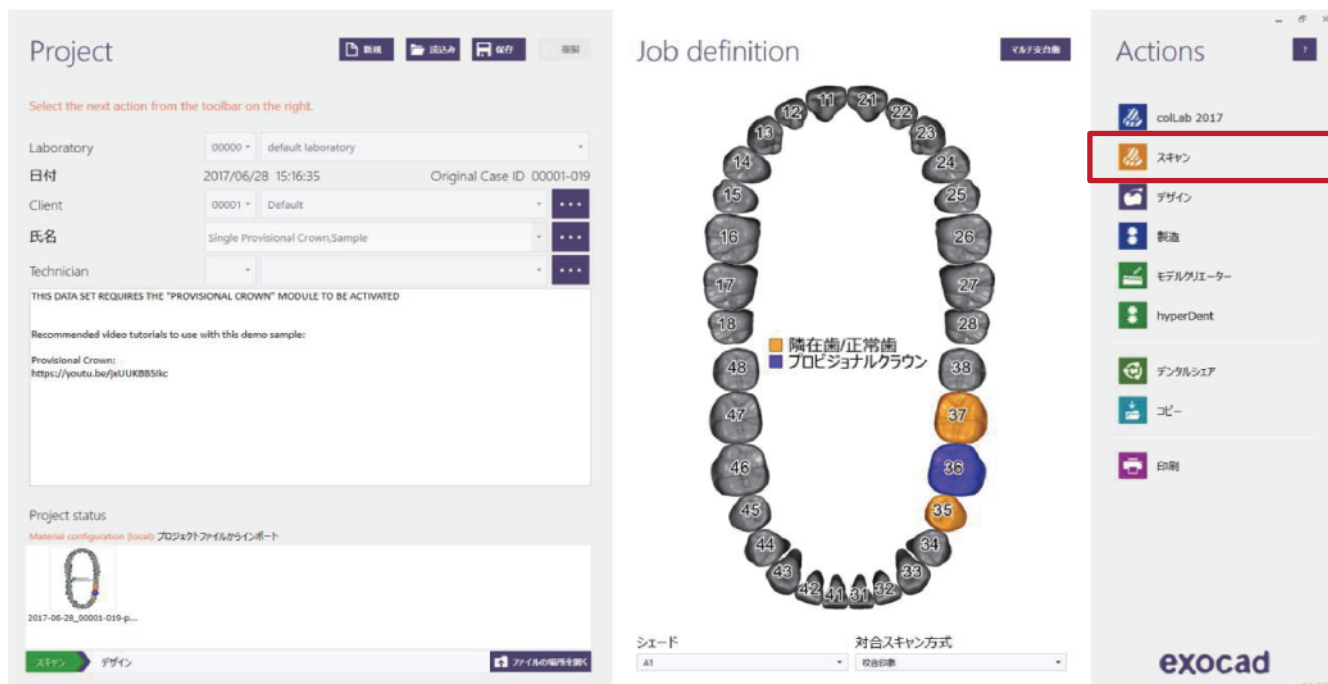
exocad

Provisional Module

① プロビジョナルクラウンのデザイン	2p
① 指示書(注文書)の作成	2p
② プロビジョナルクラウン上部 - 歯牙検出	2p
③ プロビジョナルクラウン上部 - マージンラインの設定	3p
④ プロビジョナルクラウン上部 - 修正	4p
⑤ 自由形状 - 解剖学的	4p
⑥ 自由形状 - 自由変形	5p
⑦ 自由形状 - アタッチメント	5p
⑧ 完成	6p

① プロビショナルクラウンのデザイン

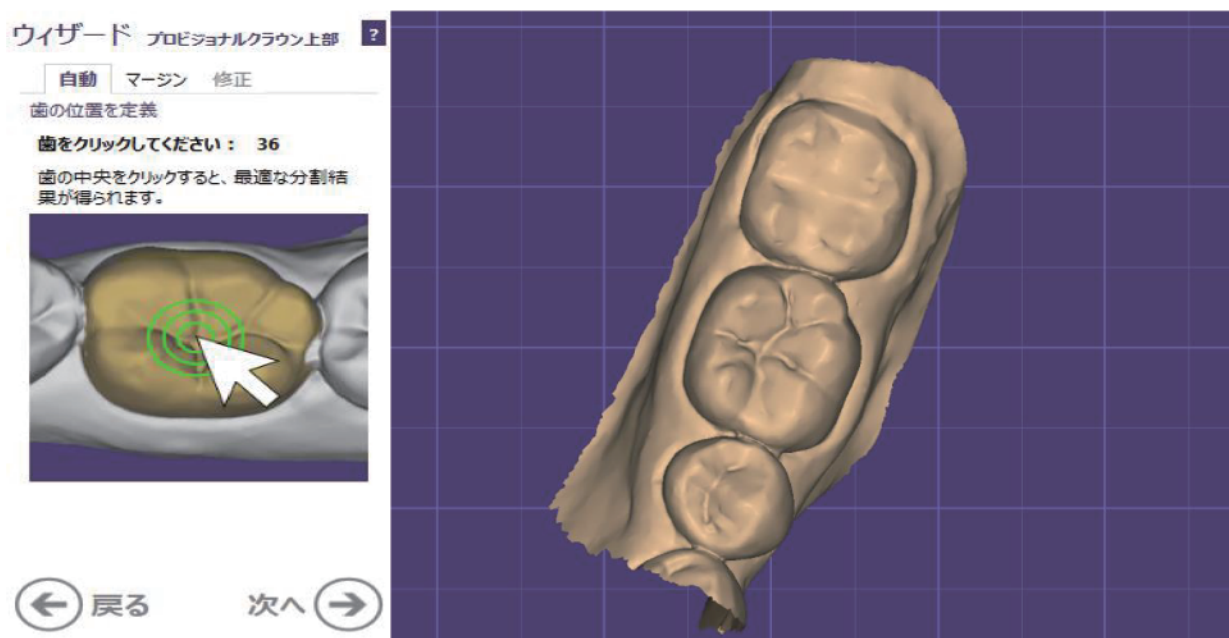
① 指示書 (注文書) のデザイン



指示書をの作成し、Actionsタブから「デザイン」をクリックする

② プロビショナルクラウン上部 - 歯牙検出

プロビショナルを制作する歯牙をクリックする

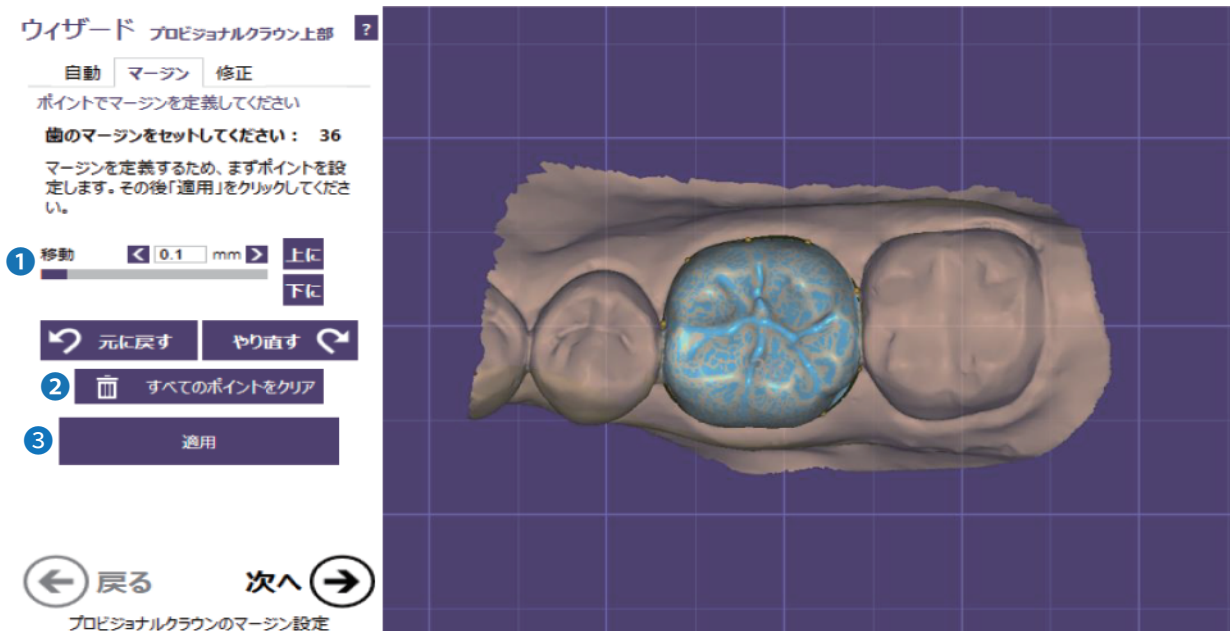


- 歯牙をクリックすると、自動で歯牙を検出する
- 歯牙のライブラリーを適応させる

③ プロビショナルクラウン上部 - マージンラインの設定

自動で検出されたマージンラインの編集を行う

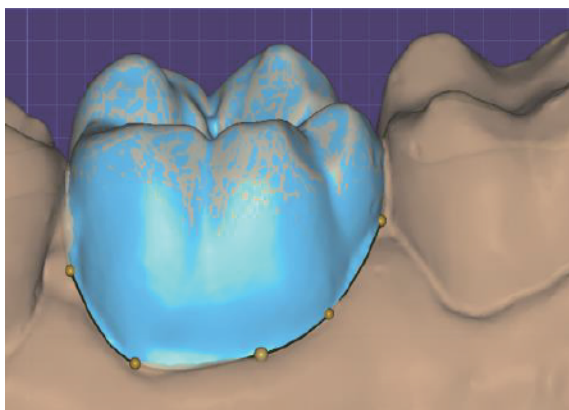
マージンラインの編集が必要ない場合は、「次へ」をクリックして次の段階へ進む



- ① 「移動」: マージンライン全体を移動する

移動する数値を入力し、移動する方向を選択する

- ② 「すべてのポイントをクリア」: 自動で検出されたマージンラインのポイントをすべて削除する



マージンラインの各ポイントをマウスドラックで移動することもできる

すべての設定が終わったら③「適用」をクリックする

④ プロビショナルクラウン上部 - 修正

ウィザード プロビショナルクラウン上部 ?

自動 マージン 修正

認識を手動で最適化

歯を修正してください: 36

① ブラシのサイズ: < >

② 修正をクリア



元に戻す

やり直す



ソフトウェアにより歯の境界が認識されました。歯のエリアをクリックすると、認識結果を変更することができます。左クリックで選択して、shift + 左クリックで選択を解除します。

③ 適用

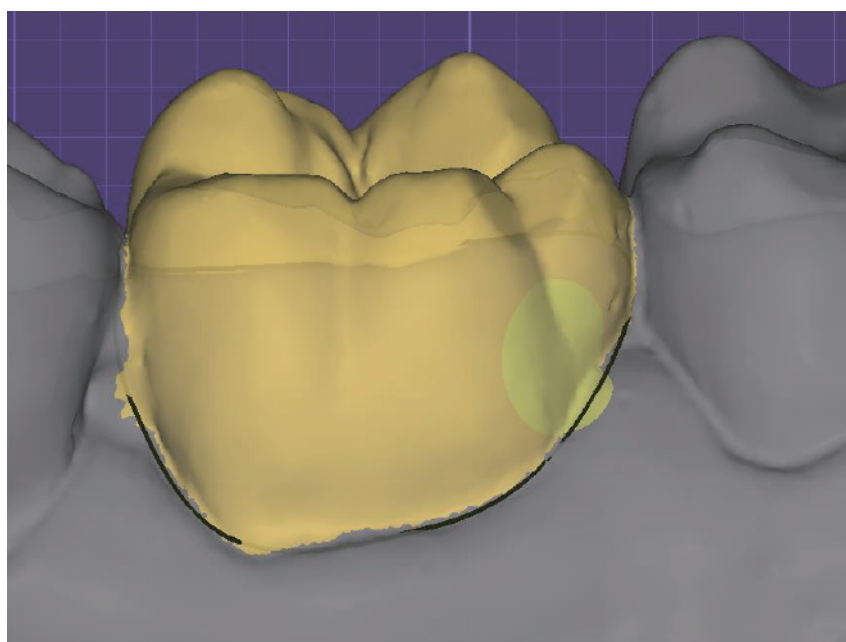


戻る



次へ

プロビショナルクラウンのマージン設定



自動で認識された歯牙領域の修正を行う

マウスドラック: 領域の選択(拡張) Shift + ドラック: 選択された領域の削除

①「ブラシのサイズ」: ブラシのサイズを調整(Shift + ドラックでも可能)

②「修正をクリア」: 選択された領域をすべて削除する

歯牙領域の修正が終わったら、③「適用」をクリックする

⑤ 自由形状 - 解剖学的

ウィザード 自由形状



①「咬頭」: 各咬頭部の調整

②「歯のパーツ」: 近/遠心、舌/頬側を調整

隣接面などの接触部分の調整に便利

③「歯全体」: 歯牙モデルの全体を調整

④「隆線」: 隆線の形態を調整

⑤「移動-咬頭側のみ」: 移動方向を咬頭(上/下)方向のみに制限

⑥「部品固定を維持-咬頭先/赤道面」: 咬頭先/赤道面を編集できないよう、固定する

自由変形 解剖学的 アタッチメン

▼ プレセット

①



咬頭

②



歯のパーツ

③



歯全体

④



隆線

移動: ⑤

☐ 咬頭側のみ

部品固定を維持: ⑥

☐ 咬頭先☐ 赤道面

元に戻す



やり直す

> ペイント & 引く



戻る



次へ

"次へ"をクリックして続行

⑥ 自由形状 - 自由変形

実際のワックスアップと同じ機能で、仮想のワックス彫刻刀を利用した修正

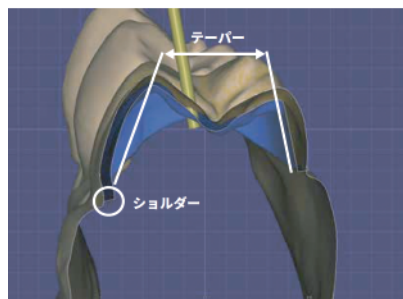
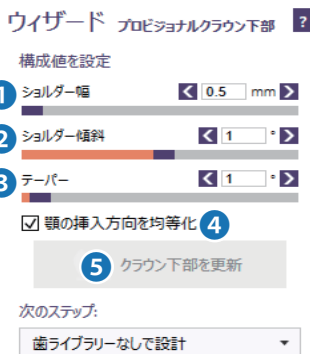


- ①「追加/削除」：面の追加または削除(クリック:追加 / 「Shift」+マウス：削除)
- ②「平滑化/平面化」：面を平らにまたは滑らかにする(Shift+マウス：強力な平坦化
Ctrl+マウス:外形は維持して表面を滑らかにする)
- ③「ブラシ効果」：①・②の強度(「Ctrl」+マウスホイール)
- ④「ブラシサイズ」：彫刻刀のサイズ(「Shift」+マウスホイール)
- ⑤「タイプ」：彫刻刀の形態

⑦ 自由形状 - アタッチメント



- ①「追加と削除」：これから選択するライブラリで追加か削除を選択
- ②「ライブラリ」：アタッチメントを追加したり、削除する項目
- ③「移動」：アタッチメントを移動させる
- ④「回転」：アタッチメントを回転させる
- ⑤「スケール」：アタッチメントの大きさを調整する
- ⑥「挿入方向」：アタッチメントの挿入方向を調節する
上部構造：デザインした歯牙に合わせる
視点：現在見ているビュー方向に合わせる
表面：表面に合わせる
- ⑦「適用」：適用を押すとその配置で適応される



- ①「ショルダーの幅」：内面のショルダーの幅を選定
- ②「ショルダー傾斜」：内面のショルダーの角度を設定
- ③「テーパ」：壁の軸方向角度を設定
- ④「顎の挿入方向を均等化」：顎のすべてのプロビショナルの挿入方向を均等にする
*矢印のポイントを動かして、挿入方向を設定する

⑧ 完成

ウィザード 結合/マージ

次のステップ: 保存されたファイル

次の作業を選択:



完了

1



プロダクションに進む



フリーフォームの修復物

2



エキスパートモード

3



模型のデザイン

4

CADモジュールを閉じる。

☒ プロジェクトディレクトリに画面を保存。

①「完了」：データを保存して、プログラムを終了する

②「フリーフォームの修復物」：フリーフォームを行う

③「エキスパートモード」：エキスパートモードで編集を行う

④「模型のデザイン」：モデルクリエーターでモデルを作成する

(Model Creator Module 必要)



戻る

次へ

